

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東  
 コード番号 7408 URL http://www.jamco.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 善久  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 大倉 敏治 (TEL) 0422-31-6114  
 執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	42,554	23.7	3,908	24.6	3,981	10.7	2,690	6.0
27年3月期第2四半期	34,413	20.3	3,136	199.9	3,596	211.2	2,538	320.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,664百万円(△5.2%) 27年3月期第2四半期 2,810百万円(301.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	100.31	—
27年3月期第2四半期	94.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	93,395	26,214	27.2
27年3月期	87,921	24,497	27.0

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 25,439百万円 27年3月期 23,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期期末配当金の内訳は、普通配当25円、記念配当10円です。

平成28年3月期期末配当金予想は、普通配当30円です。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,802	16.7	8,951	31.9	8,641	10.4	5,340	11.4	199.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	26,863,974株	27年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	38,551株	27年3月期	38,551株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	26,825,423株	27年3月期2Q	26,825,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P.4「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、中国及びアジア新興国等の景気は減速傾向にあり先行きに不安を抱えた状況となりましたが、米国及び日本では穏やかな景気回復が続き、又、欧州地域ではギリシャの債務問題を抱えてはいるもののユーロ圏全体では景気回復傾向にあるなど、世界景気はばらつきもみられるものの全体的には概ね堅調に推移しました。

航空輸送業界では、世界的な航空需要の増加と原油安が追い風となり、総じて収益改善が進みました。大手航空会社におけるボーイング787型機やエアバスA350型機といった燃料効率の良い新型機種の導入や世界的なLCCの台頭などを背景に、航空機メーカーの受注と生産機数は引き続き高い水準を維持しており、更なる増産に向けた対応を進めています。又、ボーイングが開発中の777X型機は基本設計が完了し詳細設計へ移行する段階となり、開発や生産に係わる日本企業も生産の準備を着々と進めています。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連においては、旅客用座席(シート)の効率的な生産体制の構築に向けて新たな生産拠点の準備を進めると共に、787関連内装品の増産対応を推進しました。航空機器等製造関連においては、熱交換器等防衛関連製品の販売回復に努めると共に、炭素繊維構造部材(ADP)及び民間航空機用エンジン部品の生産性の改善を進めました。航空機整備等関連においては、機体整備の生産効率向上に努めるとともに、整備品整備では新規整備品目に関する技量向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高 42,554百万円(前年同四半期比 8,141百万円増)、営業利益 3,908百万円(前年同四半期比 771百万円増)、経常利益 3,981百万円(前年同四半期比 384百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 2,690百万円(前年同四半期比 152百万円増)となりました。

グループ全体の販管費、営業外収益費用、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、業容拡大に伴う人件費、販売手数料、保証工事費等の経費の増加などにより 4,588百万円(前年同四半期比 683百万円増)となりました。

営業外収益費用は、為替差益の減少等により前年同四半期に対し 386百万円減益となりました。

特別損益は、投資有価証券売却益、段階取得に係る差益などの特別利益を計上した前年同四半期に対し、405百万円減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### [航空機内装品等製造関連]

当事業では、787型機向け製品やエアライン向けのギャレー等の出荷増加、スペアパーツ販売の増加、為替相場が円安で推移したことによる外貨建売上高の増加などにより、前年同四半期に比べて売上高は大幅に増加しました。利益面については、シートにおいて開発費や生産コストが嵩んだことにより想定以上の損失が発生すると共に、下期以降の損失工事を見込んで工事損失引当金を計上したものの、円安による外貨建て売上高の増加、スペアパーツを含めたギャレー、ラバトリー等主力製品の増益などにより営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。しかし経常利益については、為替差益の減少により減益となり

ました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 35,157百万円(前年同四半期比 6,302百万円増)、経常利益3,652百万円(前年同四半期比 214百万円減)となりました。

#### [航空機器等製造関連]

当事業では、熱交換器等防衛関連製品の出荷が増加すると共に、ADPの販売も堅調に推移したことから、前年同四半期に比べ売上高、利益共に増加しました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 3,408百万円(前年同四半期比 1,134百万円増)、経常利益 247百万円(前年同四半期は経常損失 358百万円)となりました。

#### [航空機整備等関連]

当事業では、機体整備において受注及び生産が堅調に推移したことから、前年同四半期に比べ売上高は増加しましたが、装備品整備において採算性の厳しい品目で損失を計上したことから、経常利益は前年同四半期並みとなりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 3,989百万円(前年同四半期比 704百万円増)、経常利益 79百万円(前年同四半期比 0百万円増)となりました。

#### [その他]

その他の区分には、連結子会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおり、いずれもセグメント間の内部取引が中心で、当初の予定どおり順調に事業を進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円(前年同四半期比 0百万円増)、経常利益 1百万円(前年同四半期比 7百万円減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は 93,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5,473百万円増加しました。内、流動資産については、現金及び預金の増加(前期比 1,522百万円増)、仕掛品の増加(前期比 3,931百万円増)、原材料及び貯蔵品の増加(前期比 2,516百万円増)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ 5,350百万円増加しました。又、固定資産については、無形固定資産の減少、投資その他の資産合計の減少はあったものの、工場改築及び施設設備の更新、生産設備の更新、工場用地・施設の取得、航空機内装品増産のための金型等、業容拡大に伴う投資を進めたことにより固定資産合計で前連結会計年度末に比べ123百万円増加しました。

負債合計は 67,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,756百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加(前期比 833百万円増)、工事損失引当金の増加(前期比 935百万円増)、長期借入金の増加(前期比 1,094百万円増)等によるものです。

純資産合計は 26,214百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,716百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加(前期比 1,751百万円増)等によるものです。この結果、自己資本比率は 27.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、航空機内装品等製造関連においてスペアパーツを含むギャレー、ラバトリーなどの主力製品は売上高、利益共に当初計画を上回りましたが、シートの出荷時期が第3四半期以降にずれ、又、開発費や生産コストの増加、下期以降の損失工事を見込んで想定以上の工事損失引当金を計上したことが響き、グループ全体で売上高、営業利益、経常利益共に当初計画をやや下回りました。第3四半期以降は前提となる為替レートを1米ドル当り115円から120円へと見直した上で通期業績を見通したところ、航空機内装品等製造関連では、シートの出荷に伴い売上高は回復し、利益面についてはシート以外のスペアパーツを含むギャレーやラバトリーなどの貢献により下期は堅調に推移するものと見通しています。又、航空機器等製造関連及び航空機整備等関連は概ね当初計画通りに推移することから、グループ全体では平成27年5月11日に公表した平成28年3月期の連結業績見通しに変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,050,112	4,572,245
受取手形及び売掛金	20,677,111	18,727,680
商品及び製品	1,057,875	944,634
仕掛品	19,188,415	23,119,748
原材料及び貯蔵品	17,138,642	19,654,970
その他	7,625,088	7,068,069
貸倒引当金	△4,753	△4,622
流動資産合計	68,732,492	74,082,725
固定資産		
有形固定資産	13,692,759	14,243,230
無形固定資産	1,217,153	1,113,403
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,361,463	4,037,575
貸倒引当金	△81,970	△81,766
投資その他の資産合計	4,279,492	3,955,808
固定資産合計	19,189,406	19,312,442
資産合計	87,921,898	93,395,167
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,103,013	14,936,632
短期借入金	24,246,573	23,973,808
未払法人税等	2,364,663	1,746,576
賞与引当金	1,759,125	1,811,005
工事損失引当金	1,057,986	1,993,116
その他	9,422,727	11,364,218
流動負債合計	52,954,090	55,825,357
固定負債		
長期借入金	3,357,854	4,452,486
役員退職慰労引当金	221,920	128,435
執行役員退職慰労引当金	71,127	94,931
退職給付に係る負債	6,432,737	6,339,921
環境対策引当金	7,089	7,089
その他	379,311	332,407
固定負債合計	10,470,040	11,355,271
負債合計	63,424,130	67,180,628

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	13,453,776	15,205,739
自己株式	△30,070	△30,070
株主資本合計	23,151,592	24,903,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,799	95,309
為替換算調整勘定	500,127	442,311
退職給付に係る調整累計額	△19,101	△2,132
その他の包括利益累計額合計	581,826	535,487
非支配株主持分	764,349	775,494
純資産合計	24,497,768	26,214,539
負債純資産合計	87,921,898	93,395,167



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	34,413,247	42,554,877
売上原価	27,370,900	34,057,770
売上総利益	7,042,346	8,497,107
販売費及び一般管理費	3,905,510	4,588,735
営業利益	3,136,836	3,908,371
営業外収益		
受取利息	554	616
受取配当金	2,195	2,858
為替差益	483,703	126,687
持分法による投資利益	19,259	12,321
保険配当金	8,832	2,959
助成金収入	10,650	63,932
その他	83,150	13,503
営業外収益合計	608,345	222,879
営業外費用		
支払利息	122,421	130,431
その他	26,343	19,432
営業外費用合計	148,765	149,863
経常利益	3,596,416	3,981,387
特別利益		
投資有価証券売却益	137,615	-
固定資産売却益	37	445
段階取得に係る差益	259,210	-
特別利益合計	396,863	445
特別損失		
固定資産処分損	3,305	10,526
その他	-	1,522
特別損失合計	3,305	12,049
税金等調整前四半期純利益	3,989,974	3,969,783
法人税、住民税及び事業税	1,729,694	1,246,508
法人税等調整額	△296,560	△4,579
法人税等合計	1,433,133	1,241,928
四半期純利益	2,556,840	2,727,854
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,034	37,000
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,538,805	2,690,853

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,556,840	2,727,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,667	△5,490
為替換算調整勘定	247,724	△69,534
退職給付に係る調整額	27,698	16,969
持分法適用会社に対する持分相当額	△44,849	△4,878
その他の包括利益合計	253,240	△62,935
四半期包括利益	2,810,080	2,664,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,750,502	2,644,514
非支配株主に係る四半期包括利益	59,578	20,404

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,854,410	2,274,290	3,284,533	34,413,234	13	34,413,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	115,782	14,467	171,093	301,344	66,628	367,972
計	28,970,193	2,288,757	3,455,626	34,714,578	66,641	34,781,219
セグメント利益又は損失(△)	3,867,097	△358,383	78,787	3,587,501	8,914	3,596,416

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコ及び㈱ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。又、㈱ジャムコテクニカルセンターは新技術、新製品の研究開発を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,587,501
「その他」の区分の利益	8,914
四半期連結損益計算書の経常利益	3,596,416

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,157,056	3,408,623	3,989,172	42,554,852	24	42,554,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高	92,239	38,452	145,869	276,561	66,793	343,355
計	35,249,296	3,447,076	4,135,041	42,831,414	66,818	42,898,232
セグメント利益	3,652,591	247,542	79,555	3,979,689	1,697	3,981,387

(注) 「その他」の区分には、関係会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。(株)オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。又、(株)ジャムコテクニカルセンターは新技術、新製品の研究開発を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,979,689
「その他」の区分の利益	1,697
四半期連結損益計算書の経常利益	3,981,387

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。